

番組

解説 新能上演に先立ち 佐久間二郎

舞囃子 屋 島 観世 喜之

狂言 蝸 牛

シテ(山伏) 大藏 教義  
アド(主人) 宮本 昇  
アド(太郎冠者) 榎本 元

～休憩十五分～

能 土蜘蛛

シテ(怪僧・土蜘蛛) 佐久間二郎  
ツレ(源頼光) 永島 充  
ツレ(胡蝶) 河井 美紀  
トモ(従者) 中森健之介  
ワキ(独武者) 福王 和幸  
ワキツレ(従者) 村瀬 慧  
ワキツレ(従者) 矢野 昌平  
アイ(頼光の下人) 大藏 教義

笛 一噌 庸二  
小鼓 鳥山 直也  
大鼓 佃 良太郎  
太鼓 姥浦 理紗  
他

午後 7 時30分頃終演予定

演目紹介

『蝸 牛』(かぎゅう)

主人から長寿の薬となる蝸牛(=かたつむり)を捕ってくるよう命ぜられた太郎冠者。果たして蝸牛がどんなものか知らない冠者は、主人に「藪の中において、頭は黒く腰に貝をつけ、たまに角を出す。時には人間ほどの大きい蝸牛もいる」と教えられ、早速に藪の中を探し回る。するとそこで旅疲れのために寝ている山伏を見つけた太郎冠者は、あるうことか山伏に向かって蝸牛かと尋ねる。勘違いに気づいた山伏は、からかってやろうと蝸牛のふりをし、すっかり信じ込んだ太郎冠者と一緒に主人の元へ行くことになるが……。

『土蜘蛛』(つちぐも)

鬼退治で名を馳せた源頼光(ツレ)は、原因不明の病にかかり明日を知れぬ命となる。そこへ、薬を携え見舞いにやってきた胡蝶(ツレ)が、心身の弱る頼光を励まし色々な世話をする。やがてある日の夜。苦しむ頼光の枕元に一人の怪僧(シテ)が現れ、警戒する頼光に向かい蜘蛛の糸を吐き掛け襲いかかる。そこで頼光は手にした名刀・膝丸をもって応戦。その身体を斬りつけるや謎の僧は煙のように消え失せる。そこへ駆けつけた独武者(ワキ)は、頼光より事の様子を伺った後、敵が残したと思われる血の跡をたどり行くと、山の奥にある巨大な塚を見つける。早速に家来たちと共に塚を崩すと、中から妖怪・土蜘蛛(後シテ)が現れ、千筋の糸を繰り出し襲いかかるが、ついには独武者の力に屈し、その首をまんまと打ち落とされる。



観世 喜之  
(かんぜ よしゆき)

観世喜之家(矢来能楽堂)当主。(公社)観世九阜会理事長。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。平成14年度文化庁芸術祭優秀賞・平成17年日本芸術院賞受賞。武田神社能楽殿「甲陽武能殿」を命名する。



佐久間二郎  
(さくま じろ)

甲府市生まれ。3歳で能面に興味を持ち、能楽師を志す。高卒後、観世喜之師に師事。東京・山梨に「謡曲・仕舞」の稽古場を持ち、能楽の普及に努めている。平成29年8月「こうふ開府500年カウントダウンイベント500日前」で武田神社能舞台にて祝賀の能を演ずるなど、県内での能楽活動も精力的に行っている。(公社)観世九阜会所属。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。山梨県立大学非常勤講師。

武田の杜薪能特別企画

触れてみよう! 能・狂言の世界。

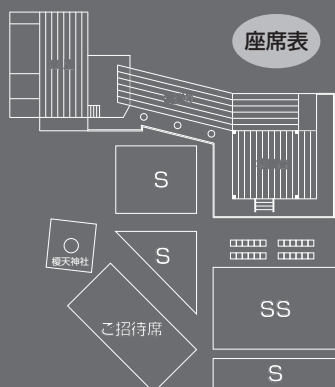
薪能鑑賞が10倍楽しくなる! 今回上演する能「土蜘蛛」と狂言「蝸牛」について、出演の役者が分かりやすくご案内。また、本物の能面や、能の楽器(小鼓・大鼓)を間近に見ることもできます。ぜひご参加ください! ※薪能鑑賞券をお持ちの方のみ参加可能

- 日時: 平成30年5月26日(土) 午後3時~4時 **薪能当日**
- 場所: 会場内
- 能と狂言のお話: 観世流能楽師・佐久間二郎 大藏流狂言師・大藏 教義
- そのほか、実物の能面を着けてみたり、楽器に触れたりできる体験コーナーもあります。
- 雨天時は中止となる場合もあります。

裏千家 久岡宗洋社中 野点御茶席

薪能当日、裏千家 久岡宗洋社中の皆様のご奉仕による野点御茶席がございます。

- 日時: 平成30年5月26日(土)午後3時30分~4時50分(開演後の野点はございません)
  - 場所: 武田の杜薪能会場内(武田神社中庭芝生内)
- ※薪能を鑑賞される方はどなたでも御抹茶をお召し上がり戴けます。



《チケット料金》

SS席(指定) ¥7,000  
S席(指定) ¥5,000  
※S席に限り、学生証の提示で3,000円でお求め戴けます

《お問い合わせ・お申し込み》

武田の杜薪能実行委員会 TEL 055-252-2609  
佐久間二郎 TEL 042-316-4860  
岡島友の会 TEL 055-231-0619  
山交友の会 TEL 055-232-8166

《交通のご案内》

- ◆JR利用の場合 JR甲府駅(北口)よりバス利用で約8分。山梨交通「武田神社」行(臨時バス増発)又は「積翠寺」行にて乗車下さい。
- ◆自動車利用の場合 中央自動車道 甲府昭和ICより約20分

※無料駐車場もございますが数に限りがあります。公共交通機関のご利用をお勧めいたします。

